

浜松市文化財情報

発行：浜松市文化財課

浜松市中区元城町103-2（本庁6階）

TEL：053-457-2466

FAX：053-457-2563

Mail：bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp

Vol. 48
2012/01/15



金銀装門頭大刀（浜松市指定有形文化財）

賀茂真淵記念館 平常展 「“万葉学者 賀茂真淵”の万葉研究を巡って」

新しき年の初めの初春の
今日ふる雪のいやしけ吉事
（大伴家持詠『万葉集』最終歌より）

『万葉集』は現存する最古の和歌集であり、天皇や貴族から防人といった庶民まで多様な立場の人々の思いが情感豊かに詠いあげられています。

それ故、時代を超えて人々の心をとらえてはなさない『万葉集』、今も私たちが愛誦してやまない『万葉集』の魅力が賀茂真淵や近世国学者がどのように読み解き、万葉びとの心の真実をどのようにとらえてきたか…その研究の跡を掛軸や写本・版本で紹介する平常展を好評開催中です。真淵記念館ならではの『万葉』に関わる展示品が勢揃いした注目の展示内容を是非ご覧ください。



◆万葉集を研究し、国学を樹立

真淵は「ただ万葉こそあれとおもひ、麻もあまたの夏冬をたちかへつつ、百たらすむそぢの歳にしてときしるしぬ、いにしへの世の哥は人のまごゝろ也」と『万葉集』を称えました。

真淵が心を傾けた万葉歌は「まごころ」をひたぶるに詠み込む「ますらをぶり」であり、その中に「雅び」の匂う歌でした。

そして「ただ万葉こそあれ」と言い切った真淵は、言葉どおり『万葉』の研究に生涯をかけ、その命を燃焼させていきました。



◆『万葉』を初めて文学として評価

真淵の万葉研究の意義は、『万葉』を文学として批評した最初のものだという点にあります。

また、柿本人麿を評価したのも真淵でした。そして、その研究の特色は、厳密な実証性を踏まえ、詩人的直感を働かせて古代和歌の本質を実感するものであったという点です。

このようにして真淵は『万葉』全体の本質をとらえていき、「まごころ」「まこと」「しらべ」などを尊び「ますらをぶり」を説いていきました。

◆“真淵 万葉学”の継承、発展と現在

展示品を中心に真淵の“万葉学”の継承発展を概観します。

真淵の代表的注釈書『万葉考』を継ごうと、荒木田久老

は『万葉考榭乃落葉』を著し、本居宣長は5年間にわたり『万葉集』中の干か所にも及び質問を真淵に書き送って回答を得てその内容を『万葉集問目』にまとめています。

そして、損取魚彦は師真淵や契沖らの説を書き入れた『万葉集新釈』をまとめ、橋千蔭は『万葉集略解』、八木美穂は『万葉略解補闕』を著し、美穂の子ども美樹は『万葉集略解鈔』をまとめています。そうした“真淵万葉学”の流れと、広がり深まりを示しながら現在につながっている様子をぜひご覧ください。



◆“万葉集の魅力”を記念館で

我が妻はいたく恋ひらし飲む水に
影さへ見えてよに忘れず
（『防人歌鈔』遠江七首より）

「言葉は人の心の表れである。」と信じ万葉集の歌から古代の人々のものの見方考え方をとらえた賀茂真淵。日本人らしい豊かな「ことばの力」が求められている時代だからこそ、日本人としての自覚と誇りを持ち続けた真淵の生き方にふれてみませんか。



賀茂真淵記念館

浜松市中区東伊場一丁目22番2号

■開館時間：午前9時30分～午後5時

■休館日：月曜日（ただし、祝日の場合は翌火曜日が休館）
展示替えのための臨時休館、12月29日～1月3日

■観覧料：大人…300円、高校生…150円、小・中学生…無料、70歳以上及び障害者の方…無料

■アクセス：JR浜松駅下車、遠鉄バス志都呂宇布見線（5番のりば）に乗り、商工会議所下車、北へ徒歩5分

■お問合わせ：053-456-8050

詳細はWebサイト（www.mabuchi-kinenkan.jp）をご覧ください。

「第1回まいぶんまつり」を開催します！

「まいぶん（埋蔵文化財）」のさまざまな体験ができる楽しいイベント「まいぶんまつり」を企画しました。

初開催です。多くのご来場をお待ちしています！！

■日時■ 平成24年1月21日(土) 午前10時～午後3時

■内容■

午前10時～午後2時 ときどき体験スタンプラリー
(小・中学生と保護者向け)

- 【ときどき火おこし体験】 昔の人のように火おこしを体験。
- 【ときどき発掘体験】 ときどきしながら土器の発掘体験。
- 【ときどき昔の人体験】 昔の人のいしょうを着て土器といっしょに記念さつえい。
- 【ときどき拓本体験】 土器の形やもようをうつしとろう。
- 【ときどき接合体験】 土器のはへんをくっつけて一つの形にする体験だよ。
- 【ときどき土器クイズ】 土器についてのクイズにチャレンジ

午後2時～3時 文化財課職員による講座 (一般向け)

発掘のプロが語る『郷ヶ平古墳群の調査』(見学講座)「復元 馬形埴輪」
内容は、一般の方向けの講座内容となっております。
※事前申し込み不要。



■会場アクセス■

浜松市埋蔵文化財調査事務所
(浜松市西区神原町634-1 TEL・FAX 053-485-3070)
[遠鉄バス]
浜松駅1番ポール「ゆう・おおひとみ、ひとみヶ丘」方面行(25分)「神原下(かみはらしも)」下車 徒歩2分

文化財日記抄

12月には、こんな調査活動などを行いました。

1日(木)	東区市野町	市野遺跡群隣接地試掘調査
3日(土)	中区南伊場	梶子遺跡試掘調査 [~4日]
6日(火)	北区引佐町 中区元城町	奥山のムクノキ状況確認 浜松城跡試掘調査開始
9日(金)	中区元城町	第2回文化財保護審議会
12日(月)	南区東若林町 北区都田町	東若林遺跡試掘調査 尾高山遺跡試掘調査 [~13日]
14日(水)	北区引佐町	背山薬師堂調査立会
18日(日)	中区中央	第4回、第5回徳川塾
19日(月)	北区引佐町 南区高塚町	農村舞台現状調査 [~20日] 高塚遺跡試掘調査・工事立会
20日(火)	南区若林町	城山遺跡工事立会
21日(水)	西区入野町	入野古墳状況確認
23日(土)	浜北区本沢合	北浜の大力ヤノキ剪定・支柱等補修工事立会
27日(火)	北区三ヶ日町 南区飯田町	真香烟遺跡試掘調査 山寺野遺跡試掘調査
29日(木)	北区引佐町	ひよんどりとおくない映像記録作成現地確認

文化財イベント

■2月5日(日)

県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」

横尾歌舞伎特別公演

▶午後2時～午後4時/開明座(北区引佐町)

■2月9日(木)

国指定重要無形民俗文化財「西浦の田楽」

西浦の田楽祭り

▶午後9時頃～翌朝/天竜区水窪町

■文化財防火デー訓練

市指定有形文化財「木造十王坐像」ほか

▶1月22日(日)/浜北区堀谷 徳泉寺

市指定有形文化財「宝篋印塔」

▶1月25日(水)/天竜区水窪町

県指定有形文化財「龍潭寺伽藍」

▶1月26日(木)/北区引佐町

国指定重要文化財「浜名総社神明宮本殿」

▶1月27日(金)/北区三ヶ日町

文化財ボランティア養成講座を受けてみませんか

東日本大震災での、繰り返す地震と津波の情報は、東海地域の人びとにも衝撃をあたえ、浜松市民にもたいへん関心の高いところです。浜松市には、江戸時代以前のこの地域でおこった災害を記録した絵図や古文書があり、また市内の遺跡発掘調査でも遠い過去におこった災害の痕跡が見つかっています。これらの中には、まさに今回の大震災の惨状と共通する場面が多々あり、この機会に今一度市民のみなさまにご紹介いたします。

合わせて、今回の大震災では、東日本各地の文化財も数多く被災しています。倒壊したり、泥土に浸かったりした文化財は、そのまま朽ち果てて滅失する危機に瀕しています。これらの被災文化財を救うために活動している文化財レス



東日本大震災の津波で被災した地域から文化財を救出するボランティア。宮城歴史資料保全ネットワーク写真提供

キューの組織や文化財ボランティアの活動を紹介し、災害時も含めた浜松市の文化財保護と救済に力添えいただけるボランティアを養成します。地域の過去に学び、将来像を描く一助となれば幸いです。

回	時期	内 容	講 師
1	2/11 (土)	過去の災害に学ぶ 遺跡の発掘調査から見える悲劇 絵図や古文書に残した祖先の思い	文化財課 埋文担当者 博物館
2	2/18 (土)	東日本大震災の文化財被害 被害状況とその対応策	岩手大学 佐藤由紀男
3	2/25 (土)	文化財レスキュー 文化財を守る体制をどうつくるか	NPO文化財を 守る会 友田千恵

会場/浜松市博物館講座室 定員/60名 参加費/無料
時間/13:30～15:30 申し込み/広報はまつ1月5日号参照

編集
後記

新しい年を迎えました。2012年もよろしくお願いたします。昨年の東日本大震災では、多くの文化財も被災したことから、文化財の防災対策も大きな課題となっています。本年も、文化財防火デー訓練が、市内の各所で行われます。また、2月には文化財防災に関する講座も予定。ご関心のある方のご見学、ご参加をお待ちしております！